

優先的に開設する避難所について

1 趣旨

昨年の台風第19号による避難所開設状況を踏まえ、また、新型コロナウイルス等感染症対策も考慮し、「優先的に開設する避難所」を見直しました。優先的に開設する避難所とは、市内117箇所のうち、地域ごとに最優先で開設する施設で、早期の避難ができるように、すぐに開設できる体制を整えておく避難場所のことです。

床上浸水が想定される避難所は原則2階以上、新型コロナウイルス等感染症対策として、衛生環境を整え、避難者の居住スペースや動線を分けるため、避難所内の各部屋や学校の教室等の活用を図ります。

2 概要

優先的に開設する避難所の主な変更点

- ① 西部生きがいセンター及び栃木中央小学校は、
⇒ キョクトウとちぎ蔵の街楽習館へ（栃木市市民交流センター）
- ② 床上浸水が想定される学校は体育館から校舎2階以上へ
（例：栃木西中学校体育館は校舎へ）
- ③ 帰宅困難者にも利便性が高く、バリアフリーである学悠館高校体育館を開設
- ④ 分散化を図るため、大平地域・岩舟地域の避難所を増設

3 添付資料

- ・優先的に開設する避難所（別紙1）
- ・新型コロナウイルス感染症対策における避難所運営指針（別紙2）

4 周知

市ホームページや広報とちぎ8月号にて「優先的に開設する避難所」と「避難の方法」を周知していきます。

【問合せ】総務部 危機管理課

担当：堀江・熊倉 TEL：0282-21-2553

優先的に開設する避難所

(別紙1)

地域	令和元年度
	施設名
西方	真名子夢ホール
	西方総合文化体育館
都賀	都賀公民館
	木コミュニティセンター
栃木	吹上小学校
	寺尾公民館
	吹上公民館
	皆川公民館
	西部生きがいセンター
	栃木中央小学校体育館
	国府公民館
	南小学校体育館
	栃木東中学校体育館
	栃木西中学校体育館
	とちぎコミュニティプラザ
大平	大平公民館
	隣保館
	大平東地区公民館
岩舟	岩舟健康福祉センター
藤岡	藤岡保健福祉センター
	藤岡公民館
	藤岡第二中学校

令和2年度			
施設名	所在地	災害種別	
		土砂 (自主避難所)	洪水
真名子小学校校舎	西方町真名子1089-1	○	○
関東ホーチキにしかた体育館 (栃木市西方総合文化体育館)	西方町本郷1705-1	○	○
都賀公民館	都賀町原宿521	○	○
合戦場小学校体育館	都賀町合戦場301		○
寺尾中学校セミナーハウス	鍋山町86-2	○	○ (2階以上)
吹上公民館	吹上町782-1	○	○
皆川公民館	皆川城内町699	○	○
キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)	入舟町6-8	○	○ (2階以上)
国府公民館	惣社町228-1		○
南小学校校舎	沼和田町38-10		○ (2階以上)
栃木東中学校校舎	日ノ出町1-11		○ (2階以上)
栃木西中学校校舎	片柳町2-15-40		○ (2階以上)
とちぎコミュニティプラザ	箱森町36-31		○
学悠館高校体育館	沼和田町2-2		○ (2階以上)
大平公民館	大平町蔵井2001-3	○	○
大平中央小学校校舎	大平町新1354-2		○
大平東小学校校舎	大平町上高島809		○ (2階以上)
大平南小学校体育館	大平町西水代1732		○
岩舟健康福祉センター	岩舟町三谷 1038-1	○	○
岩舟公民館	岩舟町静2292-1		○
藤岡保健福祉センター	藤岡町赤麻502-1	○	○
藤岡小学校校舎	藤岡町藤岡1500		○
藤岡第二中学校	藤岡町富吉1544		○ (2階以上)

※ 避難所を全て同時に開設するわけではありません。状況により開設の判断を行います。
 ※ 自主避難所については、夜間に風雨が強くなるなどの危険が予想される場合などに備え、
 避難情報等の発令前でも暗くなる前に余裕をもって開設します。

新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営指針 (Ver. 1)

感染が拡大している「新型コロナウイルス感染症」の状況下において、感染症対策に万全を期した避難所運営が求められています。

そこで、今後の避難所運営については、以下に示すことにも留意のうえ、適切な避難所運営を行ってください。

1-1. 施設の受け入れ準備

- ・避難所の浸水想定を事前に確認する。
- ・手指消毒薬を入口（受付付近）やトイレなど、多くの人が使用する箇所に設置する。
- ・検温ブースを設置する。
- ・消毒ブースを設置する。
- ・居住スペースの床面を清潔に保つため、トイレにスリッパを用意する。

《各避難所に用意する物資（例）》

手袋、霧吹き（消毒用アルコール）、手指消毒薬、フェイスシールド、アイソレーションガウン（使い捨てエプロン）、非接触型体温計（単4電池）、水、クラッカー、キッチンペーパー、下足用ビニール袋、避難所バック、次亜塩素酸ナトリウム（ハイター※期限が切れていないか確認）、毛布、マスク、泡石鹸、受付用記入板（10枚）、筆記用具、空ペットボトル、バケツ、パーテーション、体温計（貸出用）

2-1. 避難所の受付

- ・受付を行う職員は、マスク・ゴム手袋・フェイスシールド等を着用し対応する。

《手袋マスクの装着手順》

- ① 手指を消毒する。
- ② マスクを鼻の形に併せて装着する。
- ③ 手袋を装着する。手袋をした手で顔を触らないよう注意する。

《手袋マスク外す手順》

- ① 片方の手袋を脱ぐ。内側（清潔部分）に触れないように注意する。
- ② 脱いだ手袋の内側部分でもう片方の手袋を脱ぐ。
- ③ マスクを脱ぐ前に手指消毒をする。
- ④ マスクのゴム部分をもってマスクを外す。マスク本体には触れないよう留意。

《フェイスシールドを外す手順》

- ① 後頭部のゴム部分をもってフェイスシールドを外す。フェイスシールド本体には触れないよう留意。

- ・避難所の受付では、必ず検温を実施し、風邪症状等を確認して有症状者を把握する。（避難所スタッフに対しても実施）また、感染が疑われる方の濃厚接触者を把握する。
- ・避難者には、手指消毒（手指消毒がない場合は手洗い）の徹底とマスクの着用をお願いする。

- ・マスクがない場合には、マスクを配布し、着用してもらう。マスクが不足する場合は、咳エチケットのマナーを求める。
- ・世帯の代表者に、避難者受付簿を記載してもらい受付を行う。受付後、避難所利用者登録票を記入してもらう。受付が混雑してしまう場合は、記入板を利用して、避難者同士が十分な間隔を保ったうえで記載してもらうなどしてください。
- ※ 筆記用具の感染防止として、毎回消毒する。
- ※ 検温・消毒ブースにおいて、重度の呼吸困難等生命の危険がある方が避難してきた場合は、速やかに栃木市消防本部（☎119）に医療機関への搬送依頼を行う。

2-2. 風邪・発熱等の症状がある方への対応

- ① 親戚・友人宅への避難を勧める
- ② 土砂災害警戒区域ではなく、自宅の2階以上で安全が図れる場合は、自宅での避難を勧める
- ③ 上記の対応が困難な場合は、一般の避難者と居住スペースやトイレなどの動線を区分するため個室（個別空間）に避難させる。（この場合は、保健師と対応を相談してください。）
- ④ 個室（個別空間）が確保できない避難所については、別の避難所を案内する。たらいまわしにならないように避難所同士で連絡を取り合っただ対応してください。

3-1. 風邪・発熱等の症状がある方の避難スペースの確保

- ・一般の避難者と居住スペースを区分するため個室（個別空間）に避難させる。
- ・当該者用のトイレ、手洗所を用意し、動線を一般の避難者とは別にする。

※動線がわけられない場合の対応

- ・やむをえず動線が分けられない施設については、移動時のマスク着用の徹底、他者との一定距離の確保、共用部分の消毒、または有症状者のトイレ使用時間帯の設定等（時間を分ける対策等）を行う。

4-1. 一般の避難所の居住スペース

- ・居住スペースは1人当たり3.3㎡とし、家族単位とする。
- ・避難者（家族単位）間には2m以上の間隔を確保する。

5-1. 衛生環境の徹底

- ・避難所内の換気は十分に定期的に行う。
- ・避難者には、頻繁な手洗い、咳エチケットの慣行を促す。
- ・感染症予防のため、タオルなどの共用を禁止し、すべて使い捨てのペーパータオルを使用する。
- ・共用スペース（ドアノブ、取っ手など、多数の者が触る部分もおこなう）の清掃、消毒を適正濃度の次亜塩素酸ナトリウム（ハイターなど）を用いて定期的に行う。トイレを清掃する際は、マスクと使い捨て手袋、汚染度に応じてアイソレーションガウン（使い捨てエプロン）を着用する。

6-1. 避難者の健康状態の確認

- ・避難者には、1日2回の検温を実施してもらう。発熱や体調不良の場合は、避難者から職員に報告させる。
- ・避難者が施設の入出りの際に受付で検温するなど、任意のタイミングで検温を行う。
- ・避難中に体調不良となった避難者については、予め用意した個室に移動し、経過を観察するとともに早期の医療機関受診を勧める。また、一般避難スペース内の当該者の居住スペースを消毒する。
- ・有症状者について、県南保健所健康対策課あて報告する。

6-2. コロナ感染の疑いがある方への対応

- ・個室に隔離し、下記の連絡先に相談する。

県南健康福祉センター 健康対策課 感染症予防 0285-22-1219

(月～金曜日 8:30～17:15)

6-3. 保健所への相談の目安

- ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方※で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
※ 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

7-1. 車中泊の避難者がいた場合の配慮

- ・エコノミークラス症候群対策を講じるなど、避難所担当の保健師での巡回等について配慮する。
- ・風邪・発熱等の症状がある方については、様態の急変等に対応できないため、車中泊は勧めない。

8-1. 優先的に開設する避難所

	地区	土砂	洪水	車中泊	備考
1	西方	真名子小学校校舎	真名子小学校校舎	可	
2		西方総合文化体育館	西方総合文化体育館	可	
3	都賀	都賀公民館	都賀公民館	可	
4			合戦場小学校体育館	可	
5	栃木	寺尾中学校セミナーハウス	寺尾中学校セミナーハウス	否	2階以上
6		吹上公民館	吹上公民館	可	
7		皆川公民館	皆川公民館	可	
8		市民交流センター	市民交流センター	否	2階以上

9			国府公民館	可	
10			南小学校校舎	否	2階以上
11			栃木東中学校校舎	否	2階以上
12			栃木西中学校校舎	否	2階以上
13			とちぎコミュニティプラザ	否	
14			学悠館高校体育館	否	
15	大平	大平公民館	大平公民館	否	
16			大平中央小学校校舎	可	
17			大平東小学校校舎	否	2階以上
18			大平南小学校体育館	可	
19	岩舟	岩舟健康福祉センター	岩舟健康福祉センター	可	
20			岩舟公民館	可	
21	藤岡	藤岡保健福祉センター	藤岡保健福祉センター	可	
22			藤岡小学校校舎	可	
23			藤岡第二中学校	否	

9-1. 退所者への対応

- ・2泊以上避難所を利用した避難者については、災害関連の事後対応等に必要のため、退所時に退所届を記載してもらう。
- ・新型コロナウイルス感染症の発症者が生じた場合にその濃厚接触者を後追いできるよう、避難者各人が滞在する部屋、スペース等を記録する。

10-1. 避難所の閉鎖

- ・開設した避難所は、適切に消毒等を行い閉鎖する。
- ・感染の恐れのある人の使用した部屋等の消毒作業の際は、マスク、使い捨て手袋、アイソレーションガウン（使い捨てエプロン）を着用して行う。

11-1. 消毒の方法について

① 消毒薬について

- ・手など皮膚の消毒を行う場合には、消毒用エタノールを、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウムも有効であることが分かっている。（厚労省、新型コロナウイルスに関する Q&A より）

効果の高い消毒薬	ウイルス	対象	
		手指	環境
消毒用エタノール	◎	◎	○
次亜塩素酸ナトリウム（ハイター）	◎	×	◎

※ 消毒の際の消毒液の濃度は、トイレは 0.1%、高頻度接触面は 0.05%で消毒をする（目安）

消毒液	製品濃度	0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液の作り方
次亜塩素酸ナトリウム (ハイター)	5~6%	500 mlの水に約 10 ml (ペットボトルのキャップ 2 杯)

② 希釈の手順

1. あらかじめペットボトルやバケツには、水や薬液を入れる目安を記載しておく。
2. 水はペットボトル又はバケツの半分くらいまで入れ、そこに原液を必要量入れる。
3. 最後に水を加え、よく混ぜてから使用する。

③ 消毒する場所について

- ・ 手指がよく触れる場所を清潔に保つこと。

場所	対象	方法
トイレ	流水レバー、便座のフタ、 便座、ドア等	汚れを落としてから、ペーパータオル等に十分に薬液を含ませて拭き、自然乾燥させる。 濡れている場合には水分をふき取った後、ペーパータオル等に十分に薬液を含ませて拭く。
共用部分	水道の蛇口、ドアノブ、窓 の取手、照明スイッチ、エ レベーターのボタン等	

④ 消毒実施の上の注意点

- ・ マスク、使い捨て手袋を着用し、換気をしながら作業を行う。消毒作業後は手洗いを実施する。
- ・ 金属部位に使用した場合は、10分程度たったら水拭きする。
- ・ 薬液のスプレーボトルでの噴霧はしない。
- ・ 製品に記載されている「使用上の注意」をよく読んでから使用する。
- ・ 作った消毒液は必ず当日で使い切る。安全のため、長時間にわたる消毒液の作り置きはしない。

《参考》

- ・ ウイルスが 20°C 程度の室温においてプラスチックの上に残存する期間

感染症名	残存期間
インフルエンザ	数時間
中東呼吸器症候群 (MERS)	48 時間以上
重症急性呼吸器症候群 (SARS)	6~9 日
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	72 時間 (2020.4.27 発表)

- ・ ※コロナウイルスはインフルエンザウイルスに比較して環境中に長く残存する